





名越左源太

流刑中の居住の跡

嘉永二年、島津斉興の正妻の子斉彬、妾腹の子久光とのあいだで相統争いの事件で二派にわかれて争われた、お由良（妾）騒動で、高崎五良左卫門ら十四名切腹を命ぜられたため、高崎崩れという。退役謹慎十四名、遠島九名中の一人名越左源太が、大島名瀬方小宿藤由気宅に嘉永三年五月八日から安政二年四月二日まで約五ヶ年間居住して、小宿の子弟に読書や学問を教え、その感化を授けた地である。

社団法人奄美大島青年会議所



名越左源太

流刑中の居住の跡

嘉永二年、島津齊興の正妻の子齊彬、妾腹の子久光とのあいだで相統争いの事件で二派にわかれて争われた。お由良(安)騒動で、高崎五良左エ門ら十四名切腹を命ぜられたため、高崎崩れという、退校謹慎十四名、遠島九名中の一人名越左源太が、大島名瀬方小宿藤由良宅に嘉永三年五月八日から安政二年四月二日まで約五ヶ年間居住して、小宿の子弟に読書や学問を教え、その感化を受けた地である。

注 田代大島義太夫青年会蔵所









































































